

各工場の説明

項目	第一工場	第二工場	
施設概要	処理能力	80t/日(40t/16h×2炉)	30t/日(15t/8h×2炉)
	施設稼働開始	平成5年4月	昭和58年4月
	ダイオキシン対策工事	工期 平成13年6月～平成14年11月	工期 平成12年6月～平成13年8月
主要設備方式	受入供給設備	ビット&クレーン方式	ビット&クレーン方式
	燃焼設備	ストーカ方式 (乾燥帯+燃焼帯+後燃焼帯)	ストーカ方式 (乾燥帯+燃焼帯+後燃焼帯)
	燃焼ガス冷却方式	水噴射方式	水噴射方式
	排ガス処理設備	ろ過式集じん器(バグフィルタ) 消石灰吹込み装置 活性炭吹込み装置方式	ろ過式集じん器(バグフィルタ) 消石灰吹込み装置 活性炭吹込み装置方式
	通風設備	平衡送風方式	平衡送風方式
	灰出し設備	焼却灰:灰出コンベア+薬剤噴霧+灰ビット方式 集じん灰:ダスト搬出装置+脱塩素化装置+ 重金局安定化装置+処理飛灰パンカ方式	焼却灰:灰出コンベア+薬剤噴霧+灰パンカ方式 集じん灰:ダスト搬出装置で第一工場へ
	排水処理設備	中和沈殿ろ過方式(再循環無放流) ごみビット汚水 高温酸化処理方式(炉内噴霧)	生物処理+中和沈殿ろ過方式(再循環無放流) ごみビット汚水 高温酸化処理方式(炉内噴霧)
	電気設備	受変電設備/動力制御設備	受変電設備/動力制御設備
	計測設備	中央監視操作盤/工業用テレビ設備	中央監視操作盤/工業用テレビ設備
	公害防止対策	ばいじん濃度	保証値 0.02g/m ³ 以下 基準値 0.15g/m ³ 以下
塩化水素濃度		保証値 250ppm以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 430ppm以下	保証値 250ppm以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 430ppm以下
硫酸酸化物濃度		保証値 K値10.0以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 K値11.5以下	保証値 K値10.0以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 K値11.5以下
窒素酸化物濃度		保証値 150ppm以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 250ppm以下	保証値 150ppm以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 250ppm以下
ダイオキシン類濃度(排ガス)		保証値 1.0ng-TEQ/m ³ 以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 5.0ng-TEQ/m ³ 以下	保証値 1.0ng-TEQ/m ³ 以下(乾きガス O ₂ =12%換算) 基準値 10.0ng-TEQ/m ³ 以下

【舞鶴市清掃事務所】

敷地面積 4,700㎡

所在地 京都府舞鶴市字森1515番地

郵便番号 625-0062

電話番号 (0773)63-1614 FAX兼用

E-mail seiso@post.city.maizuru.kyoto.jp



舞鶴市清掃事務所



第一工場

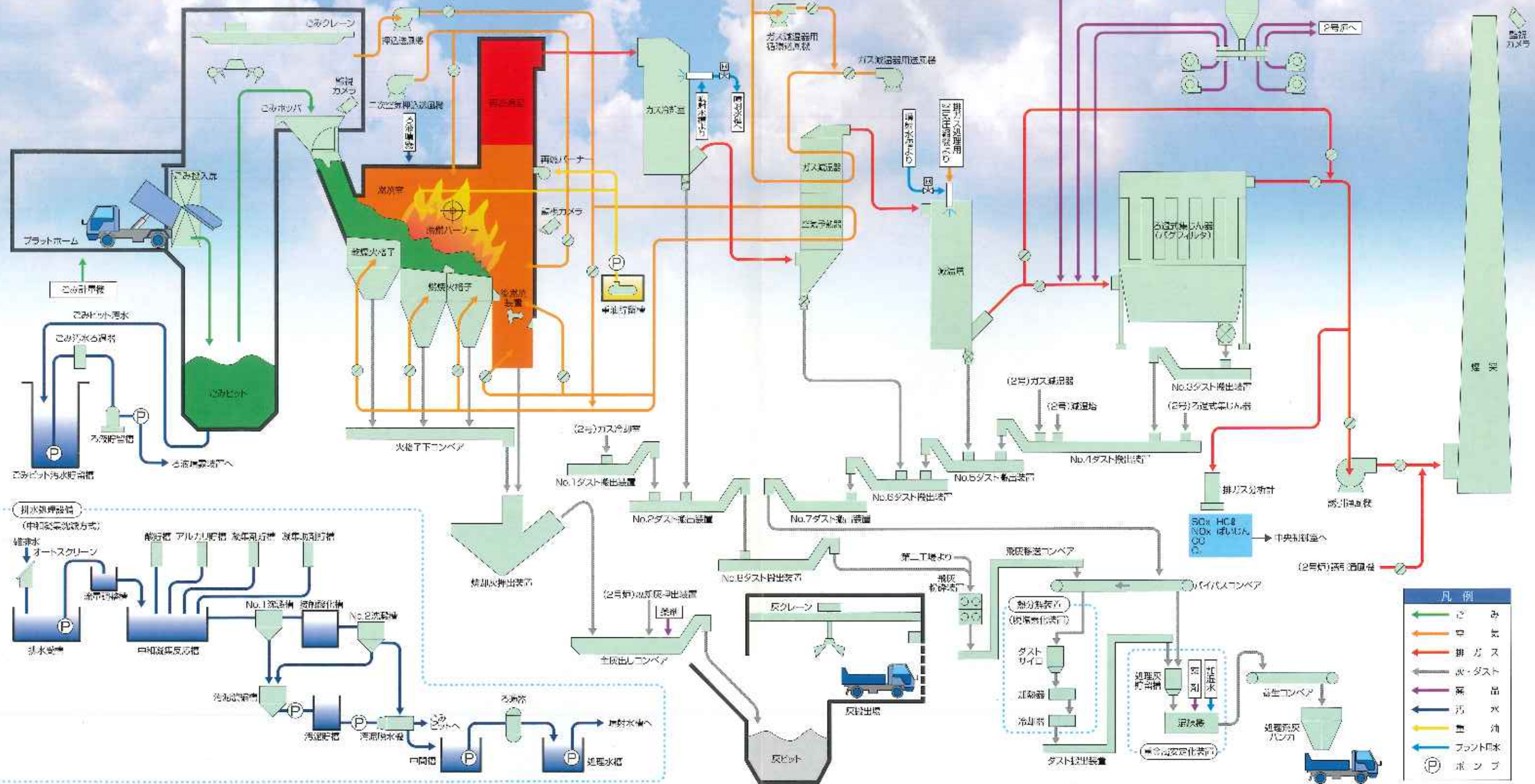


第二工場

舞鶴市市民環境部環境対策室

CLEAN MAIZURU

ごみ処理の流れ



ごみ投入

収集車で持入されたごみは、ごみ計量機で計量され、ごみ投入扉よりごみピットへ投入されます。ごみピット内のごみは、ごみクレーンにより十分に攪拌した後ごみホッパに投入されます。

乾燥

投入されたごみは、自動的に炉内の乾燥火格子上に供給されます。乾燥火格子上のごみは、階段状の火格子独特の動きによって、攪拌されながら自動的に燃焼火格子に送られます。乾燥火格子において、炉内の高温炉内気による輻射熱や炉内高温燃焼ガスによる対流伝熱、火格子下部より吹き込まれる予熱空気によりごみを乾燥させます。

燃焼

乾燥したごみは、燃焼火格子上でさらに燃焼されながら、火格子より吹き込まれる予熱空気により熱いよく、ほぼ同時に燃焼されます。その後、燃焼装置において、おき火燃焼を行い完全燃焼させます。

灰の処理

燃焼灰は、火格子下コンベアにより燃焼灰押出装置に落とされ、ここで冷却されて主灰出しコンベアに移送されます。主灰出しコンベア上で薬剤(キレート剤)を噴霧し、主灰中の重金属を安定化した後に灰ピットに移送貯留され、灰積出トラックで搬出されます。また、ガス冷却室、空気予熱器、ガス減温器、減温塔、ろ過式集じん器で捕集された飛灰は、ダスト搬出装置で熱分解装置(脱塩素化装置)の加熱器に運ばれ、ここで脱塩素化され、その後冷却器にて冷却されます。冷却された飛灰は、ダスト搬出装置で重金属安定化装置の混練機に運ばれ、薬剤(キレート剤)で処理し、処理された飛灰は処理飛灰パンカに移送貯留され、灰積出トラックで搬出されます。

排ガス処理

炉内では、ダイオキシン類の発生を抑制するため、850℃以上の高温で燃焼し、焼却炉内で発生した未燃ガスは再燃焼室において二次燃焼空気により完全燃焼されます。高温の排ガスは、ガス冷却室、空気予熱器、ガス減温器、減温塔にて冷却し、余熱で燃焼用空気を温めます。排ガス中の塩化水素は消石灰と反応し、飛灰とともにろ過式集じん器で除去されます。また、排ガス中のダイオキシン類は粉末活性炭に吸着させ、ろ過式集じん器で除去されます。

排水処理

ごみピット汚水は溜った後にろ液噴霧装置にて焼却炉内に噴霧して高温酸化処理されます。洗車排水、灰洗浄水等の雑排水は排水処理設備で中和凝集沈殿方式により浄化しプラント用水として再循環使用され、場外に放流することはありません。

凡例	
	ごみ
	排ガス
	灰・ダスト
	薬品
	汚水
	油
	プラント用水
	ポンプ